

# SSKO

ハイランドレポート  
(高原通信)

# Highland report 17

D.A.R.C 那須アディクションケアセンター  
ニュースレター 第20(2004.11.5)

## 1年が過ぎました

那須アディクションケアセンター  
施設長 栗坪千明

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがたく御礼申し上げます。

お隣の黒磯市に施設を仮開設したのが今年の2月、そしてこの施設が竣工し、引越しをして、実質的に活動を始めたのが、11月1日でした。それからなんとか1年が無事過ぎようとしています。

この1年間は無我夢中で、果たして長かったのか、短かったのか良く解りません。とにかく晩秋から始まり四季を過ごすことが出来たのは、ここのオーナーはじめ、各家族会、関係者など支援者の方々のおかげと、とても感謝しています。

とにかくはじめは、この恵まれた環境をどう使うか?ということと、地域に合ったプログラムの創作ばかりを考えていました。他のスタッフたちと毎日のように話し合いをしたり、外部の人たちに意見を求めたりと、本当に手探りです。しいたけの栽培など、私たちに出来るのだろうかと不安になりました。しかし、私たちにはハイヤーパワーと12ステップという強い見方がありました。「こんなんでも施設を続けられるのか?」という局面が多々ありましたが、なんとか続けられました。このことだけでも私たちにとっては奇跡と呼べることです。

薬物以外の楽しみをあまり知らない私たちにとって、違う楽しみを見つけることはとても重要なことです。この1年間何をして楽しんだのか報告をします。

まず冬はレクリエーションで近くのマウントジーンズスキーリゾートに出かけ、スノーボードを楽しみました。ここは那須でも雪の多いところだそうで、雪かきも皆でしました。これも楽しかった。

春は近くの余笹川の河原で散歩と日向ぼっこをしました。公園で花見をしたり、山菜取りをしたりと、自然を楽しみました。

夏は秋田主催のキャンプや茨城主催の海水浴など、いろんなところに出かけて行って楽しみました。

秋は、他の施設と合同のソフトボール大会やNAのコンベンションに参加したりとフェローシップが中心でした。

こう考えると、私たちが結構楽しんでいるのだと思います。社会復帰しても、四季を感じることは、私たちの生活に広がりを見せてくれます。薬物から開放されて良かったなと思えるのです。依存者の回復は、とても時間がかかるし、先行く仲間や周りの人たちのサポートが必要です。

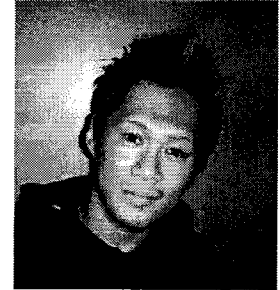
これからも、この施設が世の人たちにとって必要であれば続くことでしょう。また、必要な施設であり続けたいと思います。



## 捕われ

### 依存症のヤジ

依存症のヤジです。自分は15歳のときにシンナーを吸い始め、16歳で覚せい剤を使用しました。それから約7年間薬を使い続けました。今まで自分にとって薬物は、あってあたりまえの物でした。自分自身薬物を辞めようと思えば環境や土地を変えたりした事もあったが結局薬物を辞めることは出来ませんでした。



シンナーから始まり覚せい剤を使うようになり、自分で注射出来るようになるとその感覚が忘れられなくなり友達と遊びでやっていたのが気付いたら一人で使うようになっていました。

18歳の時に逮捕され留置所で彼女に子供が出来たと言われて、これを機会に結婚して真面目になろうと思い結婚しました。でも自分は何も変わりませんでした。仕事もだんだんに行かなくなり、地元の人間と悪さをするようになり、また覚せい剤に手を出してしまいました。家にもあまり帰らなくなり、子供や女房のことなどなんとも思わなくなっていました。なぜか自分の子供がかわいいとかいう感情などありませんでした。

ひどい時など子供の目の前で注射器を出して打っていたときも有り、子供が見ているのが女房が泣こうがわめこうがなんとも思わず使い続けて、結局は離婚をしてしまいました。

離婚しても薬はとまらず、まともな仕事も出来なくなり母親には縁を切られ、それから薬の回数も増えて仕事も金を稼ぐために詐欺まがいのことをしていました。

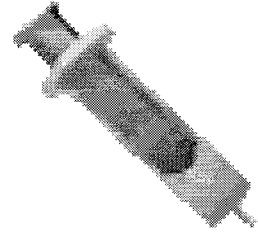
その仕事をしている間に、なぜか薬が少しの間止まり仕事が忙しかったせいもあって、遊ぶひまもなく金もたまり、別れた女房や子供に生活費を送るようになりました。



ある程度、仕事も出来るようになり店を任されるようになった時、一緒に働いていた人間に覚せい剤を誘われて一回だけならと思って久しぶりにやってしまいました。それから一週間に一回やるようになり、それがだんだん三日に一回、二日に一回になっていて気が付いたら毎日やるようになっていて回数もどんどん増えていきました。

それだけ使っているにも関わらず「自分は遊びでやっているから大丈夫だ」と思っ  
ていて、まさか自分がヤク中だとは思っていませんでした。

それからは何もかも上手くいかなくなり仕事も出来ず金  
も底を尽き女房や子供への生活費も送れなくなり薬を買う  
お金を手に入れることに必死でした。ひどい時には会社の  
お金を使い込み気付いた時には、色々な人間を裏切るよう  
な形になり信用を失い居場所も失ってしまいました。



そんな状態でも薬を止めることは出来ず、そして逮捕され  
ました。捕まって薬が抜け外に出たら薬を止めようと思いました。その時の弁護士に  
施設を紹介されました。

そのときは施設に入ってまでと思っていました。執行猶予で外に出て行く場所がな  
く義理の父親の所に帰る事になりました。ただ帰ったのはいいけど薬を使わずにいて  
も追跡妄想が入り誰かに追われている感じがして落ち着いていられず、止めようと思  
っていた薬に又手を出してしまい幻聴や追跡妄想がさらにひどい状態になり、施設に  
つながることになりました。

施設に繋がった最初のころは過去自分がしたことや傷つけた人のことで捕らわれて  
いたし追跡妄想もなかなか消えませんでした。だけど施設で生活を続けていくうちに  
時間が解決してくれていた問題もあって少しずつ捕らわれ事や追跡妄想も少なくな  
りました。

入寮して三ヶ月がたちましたが薬の欲求が入ったり過去のことで捕らわれたりもし  
ますが、今は守られた環境と仲間がいることで少しずつ楽になったような気がします。  
自分は施設に繋がって初めて自分が依存症という病気なのだを知りました。今まで自  
分のことをヤク中だと思ったこともなかったけど仲間の話を聞いたりして自分は病気  
という事を認めました。



今は少しずつ自分の感情が戻ってきたので自分自身のことを考  
えることが出来るようになりました。今まで現実逃避ばかりし  
てきて、その時さえよければそれでいいという考えで突発的  
に行動してしまう事がよくありました。

なので今は物事からなるべく逃げないように自分自身と向  
き合うようにしてるつもりかな!!

## 編集後記

最近、施設の前から見える山々は紅葉ですばらしい景色を見せてくれます。施設の近くも車の交通量が多くなりました。みんな遠くから紅葉を見に来る人たちです。葉を使っていた頃には景色がきれいだとかそんな事思ったこともありませんでした。今は紅葉を見れば綺麗だと感じられるようになりました。

少しは回復したのかな? 僕たちは毎日そんな場所で生活しています。

現在、施設の人数は20人を超えソフトボールの練習も試合が出来るようになりましたがグローブとバットが足りない為、練習もままなりません。みんなでキャッチボールの練習などをしたいので余っている道具がありましたら献品をお願いいたします。その他にもミシン、掃除機、ファンヒーター、コーヒーマーカー等が在りましたらお願いいたします。

いつもお願いばかりで心苦しいのですが施設にお金がない為お願いするしかありません。よろしくお願いいたします。

### 11月の予定表

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 6日  | DACCS            |
| 10日 | 黒羽刑務所メッセージ       |
| 17日 | 黒羽刑務所メッセージ       |
| 18日 | 日光市少年補導センター来所    |
| 20日 | 北関東薬物関連問題研究会     |
| 24日 | 黒羽刑務所メッセージ       |
| 28日 | 那須ケアセンターを支援する家族会 |



全員集合

### 献金,献品を下された方々

小西憲様、アナク様、藤井福子様、那菅谷文利様、坂本幸代様  
飯島博様、内海光広様、渡邊厚司様、青木けい子様、  
久保君子様、柴田幸作様、佐藤光代様、福田澄夫様、  
長田康司様、山口絵美様、聖血礼拝修道会様  
那須ケアセンターを支援する家族会様

匿名3名様

いつも献金、献品など戴きありがとうございます。尚、ニューズレター発送簡略化の為、郵便振替用紙は全員に同封させて戴いております。どうぞご理解ください。

#### 編集

D.A.R.C 那須アディクションケアセンター  
〒329-3225 栃木県那須郡那須町豊原丙 3227 番地 2

TEL 0287-77-7157 FAX 77-7158

Eメール n-cc@mte.biglobe.ne.jp

ホームページアドレス <http://www5f.biglobe.ne.jp/~NACC/>

発行所

郵便番号一五七―〇〇七三  
東京都世田谷区砧六一二六一二一  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会  
定価100円